

渡川水系四万十川 内外水統合の水害リスクマップ【現況河道】

浸水深50cm（床上浸水相当）以上の浸水が想定される範囲を表示

- 1 説明文
- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮し、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深50cm（床上浸水相当）以上）を示した図面です。

(2) この水害リスクマップは、観測の四万十川等の河道や洪水調節施設（中筋川ダム・横瀬川ダム）、下水道及び各種排水路の整備状況等を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/10（10%））、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/30（3%））、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/50（2%））、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/100（1%））、想定最大規模の降雨に伴う洪水による四万十川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

(3) このシミュレーションの信頼性にあたっては、高潮による氾濫等を考慮していません。また、シミュレーションの前線となる湧出や河床条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100の降雨は主要河川の氾濫が卓越する降雨波形（河川整備基本方針の基本洪水検討時の降雨波形：昭和57年8月型）、その他河川の氾濫が卓越する降雨波形（平成16年8月型）、下水道等の氾濫が卓越する降雨波形（平成17年9月型）、想定最大規模の降雨は洪水浸水想定区域図の検討時の降雨波形（平成16年10月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
- 2 基本事項等
- (1) 公表年月日 令和7年5月30日

(2) 作成主体及び対象となる流域 国土交通省四国地方整備局
・中村河川国道事務所：渡川水系四万十川流域

(3) 実施区間
【中村河川国道事務所】
・渡川水系四万十川
左岸：高知県四万十市佐田三段畑道ノ西1409番地先から海まで
右岸：高知県四万十市佐田鏡ヶ城山3189番のイ地先から海まで

(4) 対象河川
・渡川水系四万十川
左岸：竹島川、熊島川、井沢川、佐田川、清水川
右岸：津蔵瀬川、布ヶ谷川、深木川、入田江割川、久礼堀川

(5) 算出の前提となる降雨
渡川水系四万十川
・年超過確率1/10（四万十川具岡上流域の2日間の総雨量413mm）
・年超過確率1/30（四万十川具岡上流域の2日間の総雨量502mm）
・年超過確率1/50（四万十川具岡上流域の2日間の総雨量544mm）
・年超過確率1/100（四万十川具岡上流域の2日間の総雨量600mm）
・想定最大規模（四万十川具岡上流域の48時間の総雨量859mm）
県管理河川（渡川水系四万十川流域、その他河川の氾濫が卓越する降雨シナリオ）
・年超過確率1/10（中村雨量観測所の1時間の総雨量81mm）
・年超過確率1/30（中村雨量観測所の1時間の総雨量100mm）
・年超過確率1/50（中村雨量観測所の1時間の総雨量109mm）
・年超過確率1/100（中村雨量観測所の1時間の総雨量121mm）
雨水出水（渡川水系四万十川流域、下水道等の氾濫が卓越する降雨シナリオ）
・年超過確率1/10（右山雨量観測所の24時間の総雨量289mm）
・年超過確率1/30（右山雨量観測所の24時間の総雨量310mm）
・年超過確率1/50（右山雨量観測所の24時間の総雨量317mm）
・年超過確率1/100（右山雨量観測所の24時間の総雨量324mm）

(6) 河道条件
四万十川：現況河道（令和5年度、横瀬川ダム完成後）

(7) 下水道等条件
施設条件：現況
・その他計算条件等：
このシミュレーションは、下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合がある。
排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定。

(8) 関係市町村 四万十市

(9) その他計算条件等
下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨（降雨量に流出率を乗じた値）を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価している。
- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

